

新春を迎えて

—— 各会派の抱負 ——

議会運営委員会を構成する会派の新年の抱負を掲載しています。各会派の構成については、最終面をご覧ください。

区民の声を政策に

練馬の明日を創る

練馬区議会自由民主党 (15人)

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
日頃より、練馬区議会自由民主党に格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。本年が区民の皆さまにとって素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。昨年、パリオリンピック・パラリンピックにおいて、日本選手団が海外開催大会として過去最多のメダルを獲得する快挙を成し遂げました。また、メジャーリーグでは大谷翔平選手が史上初の「50-50」を達成し、ワールドシリーズ制覇にも大きく貢献しました。さらに、日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞するなど、国内外で日本人が目覚ましい活躍を見せた一年でした。
一方、10月の衆議院選挙を経て第二次石破内閣が発足し、30年ぶりの少数与党政権として厳しい運営が続いています。また、米国ではトランプ前大統領が再び大統領に選出され、中東情勢の悪化、中国・ロシア等の脅威等、国際社会の不安定さが増す中、日本では円安が進行し、物価の高騰等、区民生活や地域経済への多大な影響が今後も懸念されます。こうした中、練馬区では、「第3次みどりの風吹くまちビジョン」に基づき、保育所等待機児童ゼロの継続、児童

相談体制の強化、福祉・医療サービスの拡充、大江戸線延伸や西武新宿線連続立体交差化の早期実現、災害に強いまちづくりの推進など、「練馬区モデル」の構築を進めています。今後ますます高度化・複雑化する行政サービスに対応するには、自主財源の拡充が不可欠です。我々練馬区議会自由民主党は、経営的視点を重視した「未来への種まき」となる積極的な投資を推進し、区民生活を支えるとともに地域経済を活性化するための政策提言を行い、引き続き、区政を牽引してまいります。
本年も、練馬区議会自由民主党に変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

区民との対話こそ、最大の政治改革

練馬区議会立憲民主党 (6人)

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
旧年中は我が会派が議会運営においても新たな責務を担うなど躍進を遂げた一年でした。区議会ですっかりと責任を果たし、区民の皆様生活をより一層守ってまいります。白石けい子「子どもたちと高齢者の笑顔と安心を第一に！」
沢村信太郎「対話と提案」で区民福祉向上に取り組みます。
富田けんじ「今年も区民の生活が第一。身近な政治を。」
渡辺てる子「働く人、暮らす人が真ん中の区政を！」
たかはし純「誰もが安心と希望を持てる区政を！」
石森愛「普通の人の目線を大切に区政に取り組みます。」
本年も引き続き練馬区議会立憲民主党に対し、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

区民に寄り添い、区民の声を形に

練馬区議会未来会議・都民ファーストの会・国民民主党 (5人)

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
昨年は年明け早々に石川県を襲った能登半島地震をはじめ、南海トラフ地震臨時情報が初めて発表されるなど、改めて地震災害への備えを考えさせられる1年でした。
私たちの会派は無所属議員(倉田れいか・井上勇一郎)、都民ファーストの会(西田まこと・のださちこ)、国民民主党(石黒たつお)の3会派5名が結成した合同会派で、災害対策はもとより、生活支援、経済対策、教育、福祉の充実などの政策実現にこだわる会派として、本年も議会活動に邁進してまいります。

区民の暮らしを大切に作る区政を！

インクルーシブな練馬をめざす会 (3人)

昨年一月一日に発生した能登半島地震、四百名以上の方が犠牲になり、今も多くの方が厳しい生活を余儀なくされています。世界でも紛争が続く、ガザでは四万人以上が犠牲になっています。地域でも物価高騰などで多くの方が苦しんでいます。基礎自治体の使命は区民の命や暮らしを守ることにあります。練馬区は百億円を超える美術館の建設や駅前再開発等に多額の税金を使おうとしています。豪華絢爛な施設より区民の暮らしを。皆さんと力を尽くします。

新しい年も改革と成長を！

練馬区議会日本維新の会 (3人)

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
昨年も皆様にはご支援ご協力を賜りまして感謝申し上げます。ありがとうございます。
誰もが練馬区に安心して住み続けたいと感じていただけるように、今年も改革を進めてまいります。
特に物価高騰対策や社会保障制度改革、子育て・教育の支援、地域経済の成長戦略などに取り組みまいります。
本年もご支援賜りますようお願い申し上げます。

安全・安心で

希望あふれる練馬へ！

練馬区議会公明党 (7人)

新春を寿ぎ、謹んでご挨拶申し上げます。日頃より公明党をご支援いただき、心より感謝申し上げます。
公明党は、昨年結党60年の佳節を迎えました。「大衆とともに」との立党精神のもと「福祉」を政治の主流に押し上げ、今や「全世代型社会保障」へと結実してきました。
昨年、区議会公明党は、学校給食費の第1子から完全無償化を推進。また子どもを虐待から守るため、東京都練馬児童相談所の開設に取り組みしました。さらに防災・災害対策では、簡易耐震診断や耐震改修工事等助成額の拡充など、安全・安心のまちづくりを推進してきました。今後も物価高騰対策や防犯対策強化に総力を挙げて取り組みます。
本年は、全国都市農業フェスティバル2025が本区で開催されます。都市農業振興に向け取り組んでまいります。本年も力強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

命と暮らしを守る政治を練馬で

日本共産党練馬区議団 (5人)

新春のお慶びを申し上げます。
昨年は、学校給食費と幼稚園副食費の完全無償化が実現、補聴器購入助成も拡充しました。区役所の非正規職員の任期上限も撤廃できました。長年の願いである大泉学園駅へのホームドアの早期設置は、区民から出された3件の陳情が採択され、西武鉄道は検討を始めること発表しました。
しかし国保保険料は引き上げ。地域経済への予算は全体の2%に満たない等暮らしへの支援は少ない一方で、再開発推進や美術館再整備には100億円超をかける等優先順位が誤っています。今年も住みやすい練馬に向け尽力します。